

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	秦野市環境農政部農産課
106		
要望問題 農産物に対する獣による被害防除		
要望問題の内容 [背景・内容・対象地域及び規模 (面積、数量等)]		
<p><背景> 丹沢山塊を取り囲む市町村ではイノシシ、シカ、サル、ハクビシン等による農産物への被害が多く発生しているところである。このことから、捕獲獣 (イヌやネコ科の獣) の排泄物を利用した忌避剤の開発などお願いしたい。</p> <p><内容></p> <p><対象地域></p>		
解決希望年限	①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所(②根府川試験場③三浦試験場④津久井試験場) ⑤畜産研究所⑥水産総合研究所(⑦内水面試験場⑧相模湾試験場) 自然環境保護センター	

*ここから下の欄は、回答者が記入して下さい。

回答機関名	農業総合研究所
部 署:	企画調整部
対応区分	①実施②実施中 ③継続検討④実施済⑤調査指導対応⑥現地対応⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	
対応の内容等	<p>野生鳥獣の被害防止対策については、各所とも研究体制等が整っていないため、当面実施することは困難です。しかし、国のプロジェクト研究や他県においては被害防止に関する試験研究が進められていますので、情報の収集・提供に努めるとともに、関係行政部局とも調整を図りながら引き続き検討します。</p>
解決決定年限	①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内
備考	